

# 復興は健康からⅡ

## いわて東北M・Mの取り組み

東日本大震災被災地の医療復興支援を目的とし、平成25年度から取り組みが本格化した岩手医科大学などによる「いわて東北メディカル・メガバンク（M・M）事業」。気仙ではこれまで大船渡市や住田町で健康調査が行われ、今秋には陸前高田市でも計画されている。本紙では一昨年から昨年にかけて同事業をテーマに連載したが、今般これまでの調査によって改めて住民が注意しなければならない健康課題が浮き彫りとなってきた。同大学いわて東北メディカル・メガバンク機構臨床研究・疫学研究部門の副部門長を務める丹野高二准教授が、7月に矢巾町の同大学で地域住民向けに行った講演から、岩手が抱える健康課題や長期健康調査の重要性を考えたい。

（随時掲載）

私の専門としている公衆衛生は集団を対象とし、健康をどのように守っていくか、どうしたら病気の発症が少なくなるかを研究し、学生に教えています。私たちがこれまで実施した長期健康調査の結果などをお示ししながら話を進めますが、その前段として、まずは岩手県の健康課題にどのようなものがあるかを改めて理解していただければと思います。

がん、脳卒中、心疾患は

### 脳卒中と心臓病

日本人の死因の上位三つから四つに入ります。三大疾病とも言われます。最近は肺疾患も増えています。岩手県は、脳卒中の死亡率が都道府県の中でいちばん高いです。心筋梗塞や心不全などの心疾患は男性が4位で、女性が6位。実は岩手県は、自殺で亡くなる方も高い県のひとつです。今紹介したデータは、平成22年、つまり東日本大震災の前の年の統計をもとにつくられています。震災前

①

## 岩手が抱える健康課題

の10年ほど、この傾向は変わっていません。がんに関しても、男性も女性も高いほうから3分の1くらいです。全国では、だいたい年間120万人くらいが亡くなりますが、その3割はがん。2番目の心臓病と、3番目の脳卒中の人を合わせると27%になります。一方、岩手県は毎年1万5000人が亡くなり、がんは27%。心臓病と

脳卒中を足すと31%で、全国平均のがんと同じ割合です。

心臓病と脳卒中は、頭と胸で場所は違いますが、共通の原因が背景にあります。動脈硬化をもとにした病気が、重要な健康の課題と考えています。

まず脳卒中ですが、「卒中」とは、卒然として（急に）中る（あたる）という意味です。実際には血管の病気で、詰まるか破けるかの二つです。詰まるのは脳こうそく。破ける

うち、脳の中で破けるのは脳内出血。脳の表面の血管が破けるのを、くも膜下出血と呼びます。

血管は内膜、中膜、外膜の3層構造になっていて、いちばん内側の内膜が傷つき、血管の壁の中に脂が溜まる。

どんな脂が溜まるかというところ、コレステロール。善玉コレステロールと悪玉コレステロールがあり、ここに溜まるのは悪玉と理解し

てもらってかまいません。血管が詰まることで、脳に酸素が行き渡らなくなるのが脳こうそくです。

一方、脳の血管が破ける脳内出血です。そもそも脳の形は左右対称ですが、血管が破けると血液が脳内に

出て、まず左右対称でなくなってしまう。出血によって脳が圧迫され、命にかかわってきます。そうなる前に病院に行き、薬や手術で血のかたまりを取り除いたり、小さくすると

いった処置を受ければ、死亡に至らずに済みます。

くも膜は、脳の表面に張り付いている膜です。くも膜下出血は、脳とくも膜の間を走っている

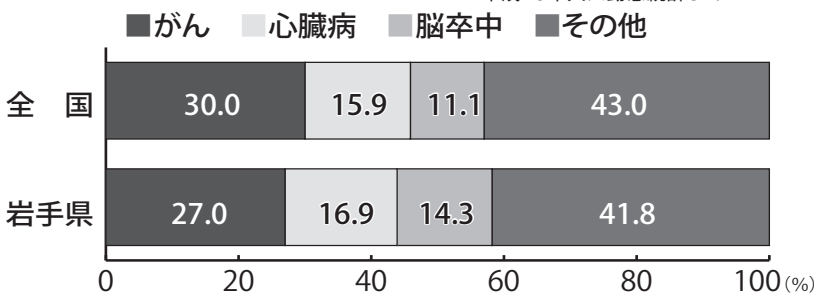
### 岩手県の健康課題は？

	がん		脳卒中		心疾患		自殺	
	男	女	男	女	男	女	男	女
1位	青森	青森	岩手	岩手	青森	愛媛	岩手	岩手
2位	秋田	大阪	青森	栃木	愛媛	奈良	青森	秋田
3位	北海道	北海道	秋田	青森	福島	埼玉	秋田	大阪
4位	大阪	鳥取	栃木	宮城	岩手	栃木	佐賀	沖縄
5位	鳥取	長崎	宮城	茨城	栃木	福島	山梨	北海道

（都道府県別にみた死亡の状況—平成22年都道府県別年齢調整死亡率—）

### 岩手県では死因の3分の1が脳卒中や心臓病

平成20年人口動態統計より



脳の表面の血管が破けるので、脳そのもののダメージは少ない。それから、原因がはっきりしていて、脳動脈瘤が破裂することで起こる病気で、

栓）ができます。血栓ができると、血液の流れが遮断されてその先に血液が行き渡らなくなります。その結果、心臓の筋肉が死んでしまう病気で、

いづれにせよ、これらのことから岩手県は血管の動脈硬化という病気を原因とした脳卒中や心臓病で亡くなる方が多い県であることが分かっていただけだと思います。